

2016年12月15日

JATAフランス役員会報告

日時:2016年12月3日から8日

訪問地:ルーアン市とパリ市

主要行事:フランス観光開発機構とのミーティング、現地見学(ルーアン、パリ)

1. フランス観光開発機構とのミーティング

日時:12月7日 於:パリ市スクリーブホテル会議室

日本側参加者:JATA役員、観光庁瓦林審議官(日本から参加)

JAL、ANA、JNTO、パリ在ツアオペレータ(現地から参加)

フランス側参加者:フランス観光開発機構マンティ総裁他、パリ観光局、AF、
パリ空港公団、イル・ド・フランス観光局など

討議を通じて確認した内容:

- (1)JATAの1年を通じた取り組みに感謝。全体はほぼ平年並みに回復。
日本の回復が遅い。10-12月で70% いい顧客層である日本の市場
回復を協力して実現すること
- (2)シニアやミレニアル世代など目の肥えたりピーターが多く、観光素材の
掘り下げや地方の魅力など企画提案を強化する必要があること
- (3)来年も年間を通じて市場回復、市場創造のために協力して販促活動を行
うこと。(マンティ総裁は9月のツーリズムEXPOと5月にも来日予定)
- (4)観光交流を深め日仏両国の絆を強化すること

2. 主な視察先、面会者

- (1)ルーアン市:ルーアン市美術館、ジャンヌダルク歴史館、モネのアトリエ、
大聖堂、パノラマXXL(新)、ルーアン市長と昼食会。
来年のランデブーフランスの際はクルーズ船などを利用した企画を体験できる予定
- (2)サンシェ・ルーアン-ノルマンディ地域圏総裁はじめノルマンディの観光
関係者と夕食懇談会を実施。モンサミシェル、ジュベルニーなど自然と文化の
織り成す魅力ある地域。
- (3)パリ市において:ルイヴィトン財団美術館(新)、モンパルナスタワー
ビュストロノム(新) レストランバス、バトーパリジャン、ムーランルージュ

3. その他

小池都知事からイダルゴパリ市長への親書を預かる。海外出張中のため
腹心のシャピラ氏(元パリ市長代理、現パリ観光局総裁)に面会し託す。

以上